

平成29年度 金閣小学校教育の基本方針

学校教育目標

育てよう 人にやさしい 環境にやさしい 金閣の子

目指す子ども像

- 自分でよく考える子
- しっかり聞きしっかり話せる子
- 笑顔であいさつのできる子
- 約束やきまりを守る子
- 健康や安全に気をつける子

目指す教職員像

- いつも子どものためにプロ意識と責任をもって考え、行動する教職員
- いつも専門職としての力量を高めるため研鑽し続ける教職員
- いつも「チーム金閣」の一員として、協働する教職員

目指す学校像

- 「チーム金閣」で、一人一人の子どもを徹底的に大切に作る学校
- 子どもが認め合い、高め合い、夢に向かって自分の力を発揮できる学校
- 子ども・教職員・地域・保護者が大好きだと思える学校

指導の重点

(1) 教育活動

① 学年経営を基盤とする学級経営の安定化

- 全ての子どもが安心して、過ごせる学級・学年
- 自分の居場所がある学級・学年
- 目標をもって行動する学年
- 児童理解**
 - ・児童、保護者との信頼関係の構築
 - ・学習（生活）態度の観察と学習成果物の分析
 - ・より多くの視点での児童理解
 - ・児童一人一人の背景を捉える（生活実態の把握）**児童のせいにしない**
- 心情的共感**
 - ・心情的に共感し合える関係の構築 心の交流
- 受容**
 - ・まず受け入れる しっかり話を聞く
 - ・思いを受け入れ、相手の立場になって考えてみる

- ・まず聞き入れて付き合ってみる
- ・最後まであきらめない

②授業（学習指導）の質的改善

○基礎基本の徹底指導・定着

- ・「読む力」「書く力」と「計算力」を向上させる
- ・楽しい授業，分かる授業，できる授業の構築
- ・ノート指導，発問・板書の工夫・個別指導の工夫
- ・導入は短く，中心（山）のある授業展開
- ・一時間ごとの「ねらい」と「つけるべき力」の明確化
- ・「めあて」と「ふりかえり」「まとめ」

○子どもが主体的に学ぶ授業の創造

- ・「授業が楽しい」から「学校が楽しい」への変容
- ・問題意識をもって追究する問題解決的な学習の展開

○個に応じた指導

- ・一人一人に応じた補充的・発展的な学習
- ・LD等支援を要する児童への学力保障（総合育成支援の取組）
- ・**通級指導教室との連携**
- ・TT指導と教科担任制

○学習評価の充実（指導と評価の一体化）

- ・自己評価と他者評価
- ・補助簿の活用

③道徳教育の充実

○道徳実践力を培う

○あらゆる教育活動を通して，子どもの内面に根ざした道徳性を養う。

○「読み物資料」「視聴覚資料」の活用

- ・特別活動との関連

④特別活動の充実

○自ら進んで活動する「集団づくり」の推進

- ・6年生を中心とした児童会活動
- ・「ABC集会」「委員会活動」「クラブ活動」での人間関係力の育成
- ・学校行事のねらいと計画的な取組

◎社会見学・宿泊学習

- ・目的意識をはっきりさせた活動の創造
- ・みさきの家 2泊3日 （4年生）
- ・花背山の家 4泊5日 （5年生）
- ・修学旅行 1泊2日 （6年生）
- ・遠足 春のみ （1・2年生）
- ・生活，社会科の学習内容による社会見学校外指導
- ・環境に関する校外学習

⑤課外学習の充実

- 部活動・読書活動・補充発展学習（チャレンジ教室）
 - ・効果的な朝学習の工夫
 - ・**読書環境の充実と「１００冊読書」への挑戦**
 - ・部活動への関わりと協力
 - ・放課後チャレンジ教室

⑥家庭学習の充実

- 基本的な学習習慣の定着（１５分×学年）
 - ・家庭学習の手引きの活用
 - ・自学自習の習慣化
- 明確な家庭学習課題の設定（宿題・家庭学習習慣・自学自習）と確実な点検
 - ・**家庭の果たすべき役割の提起と協働の取組**
 - ・学習予定表の工夫
 - （家庭学習時間帯の設定・起床・就寝時刻など）
 - （読書の習慣化）（家庭学習課題の明確化）
 - （保護者との交流）

⑦教科担任制の活用（ＴＴ）

- 質の高い授業の提供と指導体制
- 図画工作専科・理科ＴＴ指導

⑧学校生活の基本的な生活習慣の向上

- 登下校の把握と指導
- 挨拶と当番活動の指導の徹底
 - ・日直指導，清掃活動，給食指導
 - ・自分から，遠くから，大きな声で，名前も呼んで
- 学校のきまりを徹底して守らせる
- 教室移動時の整列の徹底
- 整理整頓
 - ・使ったものは元通りに
 - ・教材教具の整備と整理